

2021 年度事業報告書

I.はじめに

2021 年度を振り返れば、日本のみならず世界の社会経済が、終息の見えない新型コロナウイルス感染症、そしてロシアのウクライナ侵攻に端を発した資源価格の上昇等に翻弄された 1 年でした。

日本の鉄スクラップに関しては史上二番目に高い価格を記録した年でもありました。2008 年リーマンショック前の約 7 万円が史上最高値ですが、2021 年度は 5 万円台の価格となり、それが現在まで続いていることは大きな特徴です。

工業会活動に目を向ければ、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受け、各委員会、理事会等の会議は対面開催が難しい状況を強いられた時期がありました。しかし、オンライン形式の活用、ハイブリッド方式の採用により活動を継続し、むしろ効率的な会議運営の実現も見られました。

6 月に熊本で開催を予定していた九州支部主管の全国大会は一昨年に続き延期される事態となりました。しかし、2022 年の青森での全国大会はコロナ対策を充分講じた上での開催を実現することができ大変喜ばしく思います。

そして、工業会活動に大きく影響を与えてきた世の中の動きとしてカーボンニュートラルが挙げられます。環境委員会をはじめ工業会の殆どの活動がカーボンニュートラルに絡んでいたといっても過言ではありません。2022 年度事業計画書で触れていますが、本件は鉄リサイクル業界の重要な課題として今後も全力で取り組んでいく所存です。

2021 年度の具体的な事業活動につきましては以下をご参照頂きますが、会員各位の日頃の工業会活動に対するご支援、ご協力に関し、此处に改めて御礼を申し上げます。

Ⅱ 事業概要

＜主要取り組み事業＞

1. 鉄リサイクル業を通じた資源循環型社会の推進及び 2050 年カーボンニュートラルに向けた貢献等、地球環境保全に寄与する事業への取り組み

2020 年 10 月に菅前総理が「2050 年カーボンニュートラルの実現」を宣言以降、わが国の経済社会は、脱炭素化に向けて大きく舵を切ることとなり、鉄鋼業界もカーボンニュートラルの実現に向けた諸施策を相次いで発表、鉄スクラップ業界としても鉄スクラップ利用の重要性が謳われる中、経済産業省等、関係機関・団体と対応策等につき意見交換を開始しました。

また、我が国の経済社会における資源リサイクル分野を支える重要な担い手である当工業会においてもグローバルな視点に立って、資源の再生化及び鉄鋼業界の脱炭素化への貢献を通じ、地球環境保全に尽力しております。

(1)「2050 年カーボンニュートラルにむけた貢献」

①2021 年度は、外部調査機関協力のもと「鉄スクラップの環境価値～鉄リサイクルの CO2 削減効果等」の調査事業を実施いたしました。2022 年度は、同調査結果に基づき、「鉄スクラップの環境価値と当業界の 2050 年カーボンニュートラルに向けた貢献等」の対外発信に向け準備を進めていくこととしております。

②「鉄スクラップ業のカーボンニュートラルに向けた今後の対応等」につき、経済産業省金属課との意見交換を開始し、2022 年度以降、日本鉄鋼連盟、普通鋼電炉工業会等、鉄鋼業界関連団体とも意見交換の場を設けていただくよう働きかけを行っております。

(2)「高度な自動車リサイクル法の実施：マテリアルリサイクルの促進」

自動車リサイクル法に関し、自動車リサイクルの中枢を担う業界の立場から、合理的、効率的なリサイクルが実施され、「3R の推進」及び「リサイクルの質の向上」が達成されるべく関係各機関と協議を行いました。特に、現在進行している自動車リサイクル法見直し(マテリアルリサイクルの促進及び ASR の削減)に関し、積極的に意見具申を行っております。

(3)「鉄スクラップの品質向上等に向けた取り組み」

ダストや非鉄混入等の製鋼用スクラップの品質問題に関する意見交換、情報共有を進めるとともに、日本産鉄スクラップの国際競争力強化等についても議論を行っております。また、鉄スクラップを取り巻く課題や環境変化について普通鋼電炉工業会との対話を継続しております。

(4)「国際交流を通じた日本の鉄リサイクル業のプレゼンス向上」

国際機関との相互交流を深め、また国際会議等の場で日本の優れた鉄リサイクルシステムや技術を発信、日本の鉄リサイクル業のプレゼンスの向上に尽力しております。特に、2021年7月にWebにて開催の「国際鉄リサイクルフォーラム」では会員及び関係者に資する有益な情報提供に努めました。

2. 会員各社の経営、業務基盤等の維持・強化に資する事業の推進

業界が直面する諸課題について、会員の意見等を十分に踏まえ、担当する各委員会等を中心に的確な対応を図っております。加えて、支部、部会においても、独自の講演会、勉強会、研修会の開催や個別ニーズに応じた独自組織の運営等のほか、定例、臨時の支部、部会会合の活発な開催、本部・委員会との密接な連携により地域特有の問題等についても、詳細な事業展開に努めております。

2021年度の各委員会活動の概要は、以下の通りです。

<総会、理事会及び委員会活動>

(1)第46回通常総会(2021年6月16日(火) 於:鉄鋼会館)

- 第1号議案 議事録署名人選任の件
- 第2号議案 2020年度事業報告書(案)承認の件
- 第3号議案 2020年度決算報告書(案)承認の件
- 第4号議案 2020年度公益目的支出計画実施報告の件
- 第5号議案 2021年度事業計画書報告の件
- 第6号議案 2021年度予算書報告の件
- 第7号議案 理事選任の件
- 第8号議案 専務理事の定年延長の件
- 第9号議案 (一社)日本鉄源協会への出資金の取扱いの件
- 第10号議案 議事事項について、その趣旨に反しない範囲において字句の修正を会長に委任の件

(2)理事会(4回)

◆第164回理事会(2021年5月20日)【Web開催】

- (1)2020年度事業報告書(案)及び決算報告書(案)について
- (2)内閣府への公益目的支出計画実施報告書の提出について
- (3)2021年度予算書の修正案について
- (4)理事候補者の選任について
- (5)委員の交代について
- (6)専務理事の定年延長について
- (7)日本鉄源協会への出資金の取扱いについて(総会報告)

[報告事項]

- (1)感謝状贈呈候補者について
- (2)代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告
- (3)第165回理事会(6月16日開催)審議事項案
- (4)その他

◆第165回理事会(2021年6月16日)【書面開催】

- (1)業務執行理事・副会長の選定の件

◆第166回理事会(2021年11月18日)

- (1)2021年度中間決算(案)について
- (2)委員長ならびに委員の交代について

[報告事項]

- (1)代表理事及び業務執行理事の業務執行状況の報告
- (2)公益目的支出計画の実施完了について
- (3)事務局のテレワーク規程について
- (4)3年毎の会費見直しのための会社概要調査について
- (5)「鉄リサイクル業高齢者雇用推進事業」アンケート調査結果概要と今後のスケジュールについて
- (6)2050年カーボンニュートラル実現に向けて(共同要望)(案)
- (7)2022年新年賀詞交歓会の開催について
- (8)第32回全国大会(東北支部主管)の準備状況について
- (9)その他

◆第167回理事会(2022年3月29日)

[報告事項]

- (1)代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告
- (2)「鉄スクラップ業のカーボンニュートラルに向けた対応等」について
- (3)3年毎の会費見直しのための会社概要調査結果の評価
- (4)「鉄リサイクル業高齢者雇用促進推進事業」2021年度事業報告概要

[審議事項]

- (1)2022年度事業計画(案)及び収支予算(案)

- (2) 委員交代
- (3) 第 32 回全国大会(東北支部主管)開催の可否
- (4) 人事案件

(3)運営委員会

<委員会活動・事業>

運営委員会は他の委員会の総括委員会に位置付けられており、当工業会の運営等全般に関する諸案件について対応。

- (1) 工業会の事業計画、事業報告及び予算決算に係る事項の検討
- (2) 工業会の基本方針、コンプライアンスに係る事項の検討
- (3) 各支部、委員会活動の調整、支援に係る事項の検討
- (4) 関係省庁、関係団体との折衝、連携に係る事項の検討

<委員会開催> (4 回)

◆2021 年度第 1 回運営委員会(2021 年 5 月 13 日)【Web 開催】

- (1) 2020 年度事業報告書(案)及び決算報告書(案)について
- (2) 内閣府への公益目的支出計画実施報告書の提出について
- (3) 2021 年度予算書の修正について
- (4) 理事候補者の選任について
- (5) 委員の交代について
- (6) 感謝状贈呈候補者について
- (7) 第 165 回理事会審議案
- (8) その他

◆2021 年度臨時運営委員会(2021 年 9 月 16 日)【Web 開催】

- (1) 鉄リサイクル業高齢者雇用推進事業について
- (2) コロナ禍が続く中での下期の工業会活動について
- (3) その他

◆2021 年度第 2 回運営委員会(2021 年 11 月 10 日)【ハイブリット開催】

- (1) 2021 年度中間決算(案)について
- (2) 3 年毎の会費見直しのための会社概要調査について
- (3) 委員長ならびに委員の交代について
- (4) 2022 年新年賀詞交歓会の開催について
- (5) 第 32 回全国大会(東北支部主管)開催の可否について

[報告事項]

- (1) 各支部及び各委員会の活動状況について
- (2) 公益目的支出計画の実施完了について
- (3) 事務局のテレワーク規程(案)について

(4)「鉄リサイクル業高齢者雇用推進事業」アンケート調査結果概要と今後のスケジュールについて

(5)2050 年カーボンニュートラル実現に向けて(共同要望) (案)

(6)その他

◆2021 年度第 3 回運営委員会(2022 年 3 月 17 日)【ハイブリット開催】

[審議事項]

(1)2022 年度事業計画(案)及び収支予算(案)

(2)委員交代

(3)「鉄スクラップ業のカーボンニュートラルに向けた対応等」(案)

(4)第 32 回全国大会(東北支部主管)開催の可否

(5)人事案件

[報告事項]

(1)各委員会及び各支部の活動報告

(2)3年毎の会費見直しのための会社概要調査結果の評価

(3)「鉄リサイクル業高齢者雇用促進推進事業」2021 年度事業報告概要

(4)その他

(4)財務委員会

＜委員会活動・事業＞

(1)支部、部会を含めた工業会全体の財務状況把握、在り方の検討。

(2)一般社団法人としての会計基準に基づく適正な予算の実施。

＜委員会開催＞(3 回)

◆2021 年度第 1 回財務委員会(2021 年 5 月 7 日)【Web 開催】

(1)2020 年度決算(案)について

(2)2021 年度予算(案)予算の修正について

(3)その他

◆2021 年度第 2 回財務委員会(2021 年 11 月 5 日)【Web 開催】

(1)2021 年度中間決算(案)について

(2)その他

◆2021 年度第 3 回財務委員会(2022 年 3 月 9 日)【Web 開催】

(1)2022 年度財務委員会の事業計画・予算(案)について

(2)2022 年度予算(案)について

(3)その他

(5)商社流通委員会

<委員会活動・事業>

鉄スクラップの国内流通や輸出に係る全般的な情報を収集・発信することによる工業会活動支援。鉄スクラップ流通に係る諸問題(カーボンニュートラル、品質向上等)に関し協議し、会員へ発信することによる工業会活動支援。

<委員会開催>(2回)

◆2021年度第1回商社流通委員会(2021年6月29日)【Web開催】

- (1)委員長交代について
- (2)日本鉄源協会への出資金について

◆2021年度第2回商社流通委員会(2022年2月17日)【Web開催】

- (港湾委員会と合同開催)
- (1)港湾整備について
- (2)鉄スクラップとカーボンニュートラルについて
- (3)自動車リサイクル法の見直しについて
- (4)最近の工業会活動について

(6)業務対策委員会

<委員会活動・事業>

(1)労働安全衛生講習の動画配信

講師:産業振興(株)武藤・安全環境防災部長

講習テーマ:①転倒災害の防止②挟まれ、巻き込まれ災害の防止③重機、車両との災害防止

新型コロナウイルスの現状等を考慮し、2021年度以降、労働安全衛生講習会を会員HPにて動画配信による講習会に切り替えることとした。

(2)会員への労働安全衛生活動支援

①労働安全衛生対策関連の情報の提供

中災防機関誌より特集記事をHP会員ページへ掲載等(毎月)

②危険体験学習会の開催を準備していたが、コロナ感染急拡大により開催中止

危険体験学習会(2022年2月7日 参加者18名)

於:コベルコビジネスパートナーズ(株)技術研修センター

③労働安全ポスターを作成・配布。標語として「今日も1日ご安全に」を選定。(2021年12月)

④過積載防止ポスターの作成、配布し、会員各社への啓発と注意喚起を実施。 (2021年12月)

⑤2021年版「過積載ポスターの塗り絵コンテスト」を実施、44応募作品の中から1位から3位までを表彰。

(3)業界独自の労働災害・事故事例の収集調査を実施 (2021年10月)

- (4)東京海上日動火災保険(株)主催「人間工学を踏まえた労災事故防止」に関するWebセミナー開催(2022年2月)
- (5)災害団体保険の更新内容の検討、加入者募集(2021年3月)
- (6)適正な鉄スクラップ回収処理に資する対応
金属リサイクル伝票の実態把握及び発行・運用管理

<委員会開催>(3回)

◆2021年度第1回業務対策委員会(2021年7月28日)【Web開催】

(1)2021年度事業計画への具体的対応について

- 1)労働安全衛生講習会の開催について
- 2)危険体験学習会の開催について
- 3)労働災害・事故事例調査の実施について
- 4)安全ポスター及び過積載ポスターの作成について
- 5)その他事業

(2)その他(情報交換等)

◆2021年度第2回業務対策委員会(2021年10月20日)【Web開催】

(1)2021年度事業への具体的対応について

- 1)労働安全衛生講習会の開催について
- 2)危険体験学習会の開催について
- 3)安全ポスター及び過積載ポスターの作成について
- 4)労働災害・事故事例調査の実施について(事後報告)
- 5)その他事業

(2)その他(情報交換等)

- 1)「金属業界における産業事故、地震・台風等の自然災害による被害、防災関連法令違反発生時における対応について」(経済産業省・金属課依頼案件、9/1付、全会員各社に通知済)
- 2)次回委員会の開催について

◆2021年度第3回業務対策委員会(2022年1月28日)【Web開催】

- (1)団体保険(施設賠償、労働災害総合、VIP)の契約更新について
- (2)2022年度事業計画(案)及び予算(案)について
- (3)2021年度労働災害・事故事例調査の結果について
- (4)2021年度労働安全衛生講習に関する動画配信について
- (5)2021年度危険体験学習会(加古川)の開催について[中止決定]
- (6)2021年版「過積載ポスターの塗り絵コンテスト」の選考について
- (7)「鉄リサイクル事業のマニュアルブック」改訂(2023年版発刊)について
- (8)その他

(7)環境委員会

<委員会活動・事業>

- (1) 日鉄総研株式会社へ調査委託し「鉄リサイクルの CO2 削減効果調査」を実施。
- (2) 令和 3 年度環境委員会主催「定例講演会」(ウェビナー)を開催、会員等約 200 名が参加。(開催日:2022 年 3 月 3 日)
 - 講演 1:「欧州発信のサーキュラーエコノミー(循環型経済)に関わる最新動向」
講師:公益財団法人日本生産性本部エコ・マネジメントセンター長 喜多川和典様
 - 講演 2:「鉄スクラップの環境価値～鉄リサイクルの CO2削減効果等～」
講師:日鉄総研株式会社 常務取締役 小野 透様
 - 講演 3:「各種リサイクル法及び実証事業の最新取り組み状況」
講師:環境省環境再生・資源循環局総務課リサイクル推進室室長補佐 福井陽一様

<委員会開催>(5回)

◆2021 年度第1回環境委員会(2021 年 5 月 14 日)【Web 開催】

- (1) 新委員ご紹介
- (2) 本年度の委員会事業について
- (3) 調査事業の方向性について意見交換

◆2021 年度第 2 回環境委員会(2021 年 7 月 6 日)【Web 開催】

《勉強会を開催》

- (1) テーマ①「脱炭素に関する基礎情報」
- (2) テーマ②「2050 年カーボンニュートラルに向けた廃棄物、資源循環分野の取り組み(国の施策 方向性)」
- (3) テーマ③「鉄スクラップのリサイクルによる CO2 削減効果」
- (4) 意見交換

◆2021 年度第 3 回環境委員会(2021 年 9 月 15 日)【Web 開催】

- (1) 本年度調査事業の内容及び調査委託先の選定
- (2) 本年度下期のスケジュール(予定)、次年度事業計画(案)について

◆2021 年度第 4 回環境委員会(2021 年 11 月 11 日)【Web 開催】

- (1) 調査事業キックオフミーティング「鉄リサイクルの CO2 削減効果調査」方針概要説明
- (2) 次年度事業計画についての意見交換
- (3) 令和 4 年度税制改正に係るカーボンプライシング導入阻止に向けた共同要望書連名について(報告事項)

◆2021 年度第5回環境委員会(2022 年 2 月 15 日)【Web 開催】

- (1) 本年度調査事業報告会

- 「鉄スクラップの環境価値～鉄リサイクルの CO2 削減効果等」 概要版
- (2) 次年度事業計画・予算(案) について
- (3) 意見交換

(8)国際ネットワーク委員会

<委員会活動・事業>

- (1)2021 年の「国際鉄リサイクルフォーラム」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、完全にウェビナー形式で東京のスタジオから配信された。中国廃鋼鉄応用協会 CAMU、韓国鉄鋼協会 KOSA、Mr. Sean Davidson、林誠一氏に加え、東京製鐵も参加し、世界各地の状況、カーボンニュートラルの状況等を会員と共有できた。
- 2022 年度の「国際鉄リサイクルフォーラム」はウェビナーもしくはハイブリッド形式で開催の方針。
- (2)2021 年度の海外関係機関主催の国際会議は、新型コロナウイルス感染症拡大により中止もしくはオンライン形式での開催となり、可能な会議には参加した。2021 年 9 月開催の CAMU 主催「中国国際メタルリサイクル会議」は伊藤会長によるビデオ参加を実現した。

<委員会開催> (4 回)

- ◆2021 年度第 1 回国際ネットワーク委員会 (2021 年 7 月 1 日) 【Web 開催】
- (1)7 月 8 日開催予定「第 9 回国際鉄リサイクルフォーラム」準備の進捗状況
- (2)開催前情報の整理: 事前登録者、会場、パネルディスカッション等
- ◆2021 年度第 2 回国際ネットワーク委員会 (2021 年 8 月 31 日) 【Web 開催】
- (1)「第 9 回国際鉄リサイクルフォーラム」の振り返り
各委員による評価、予算と決算等
- (2)次回「国際鉄リサイクルフォーラム」について
- 開催の時期、方法
 - プログラム、テーマ、ゲストの検討
- ◆2021 年度第 3 回国際ネットワーク委員会 (2021 年 12 月 21 日) 【鉄鋼会館】
- 2022 年度開催第 10 回「国際鉄リサイクルフォーラム」について
- 開催形式、開催日時、開催場所
 - プログラム、テーマ、ゲストの検討
- ◆2021 年度第 4 回国際ネットワーク委員会 (2022 年 3 月 14 日) 【Web 開催】
- 2022 年度開催第 10 回「国際鉄リサイクルフォーラム」について
- 開催形式、開催日時、開催場所
 - プログラム、テーマ、ゲストの検討

(9)広報委員会

<委員会活動・事業>

- (1) 業界誌記者による市況解説動画を製作、HP掲載(2021年4月、5月、6月、9月、10月、11月、12月、2022年1月/計8回実施)
- (2) 会長と業界誌各社との共同インタビュー実施(2021年6月9日)
- (3) 動画「2022年 会長 年頭の辞」を製作、HP掲載
- (4) 当工業会、官公庁からの周知依頼事項等各種情報を発信、HP掲載
- (5) 2022年工業会カレンダーの作成・配布

<委員会開催> (1回)

◆2021年度第1回広報委員会(2022年2月10日)【Web開催】

- (1) 新委員ご紹介
- (2) 2022年度事業計画・予算案について
- (3) その他

(10)自動車リサイクル法委員会

<委員会活動・事業>

- (1) 自リ法全般に関する運用状況把握及び関係省庁、関係機関との協議。
特に、マテリアルリサイクル促進及び ASR 削減に向けた素材回収インセンティブ制度に関する関係省庁・関係機関との協議。
- (2) 「産業構造審議会・中央環境審議会 - 自動車リサイクルに関する合同会議」に出席し、破碎業としての意見を発信。
- (3) ASR の差配状況、再資源化施設の受入れ状況の調査及び実情把握。
- (4) シュレッダー母材の輸出を含めた流通状況の調査及び実情把握。
- (5) エアバッグ作動事故防止及び廃発炎筒回収に関する会員への周知。

<委員会開催> (3回)

◆2021年度第1回自動車リサイクル法委員会(2021年5月18日)【Web開催】

産構審・中環審合同会議の「自動車リサイクル制度の施行状況の評価・検討に関する報告書」について

◆2021年度第2回自動車リサイクル法委員会(2021年10月14日)【対面+Web開催】

「素材回収インセンティブ」(経産省、JARCも参加)

産構審・中環審合同会議の「自動車リサイクル制度の施行状況の評価・検討に関する報告書」及び「素材回収インセンティブ制度WG」について

◆2021年度第3回自動車リサイクル法委員会(2022年2月17日)【Web開催】

「素材回収インセンティブ」(経産省、JARCも参加)

「第4回素材回収インセンティブ制度WG」について

(11) 港湾委員会

<委員会活動・事業>

- (1) 2021 年 3 月に採択された石狩湾新港拡充プロジェクト(総事業費 92 億円、東地区 12m 岸壁等)は、2022 年 1 月に現地着工、2025 年度暫定供用開始を目指す(2022 年度予算には 20 億円を要求し、14 億 8 千万円の予算が決定)。
2018 年に「リサイクルポート推進協議会」内設立の「国際資源循環部会」会長に工業会・田中副会長(当時)が就任し、それ以来輸出先遠方化による大型船化対応に向けた港湾整備を強く働きかけてきた。2022 年 3 月 24 日開催の「国際資源循環部会」では、次期部会長に工業会・高井常務参与が就任。今後は全国ネットワークも活かした複数港積みの実現も目指し、日本の鉄スクラップ輸出の向け先遠方化と輸出全体の拡大を進めていく所存。
- (2) 国内及び輸出向け鉄スクラップの品質向上に関する業界への周知徹底。特にダスト混入の改善を目指し、一部港湾ではダスト・シェイカー等で対応。
- (3) 改正廃掃法・バーゼル法による雑品スクラップ規制強化に関し、必要に応じた関係省庁・機関との協議及び会員への周知。

<委員会開催>(1 回)

◆2021 年度第1回港湾委員会(2022 年 2 月 17 日)【Web 開催】

(商社流通委員会と合同開催)

- (1) 港湾整備について
- (2) 鉄スクラップとカーボンニュートラルについて
- (3) 自動車リサイクル法の見直しについて
- (4) 最近の工業会活動について

Ⅲ 庶務事項

1. 会 員(2022 年 3 月 31 日現在)

正会員	710 社(専業 694、商社 15、海外1)
正会員登録事業所	164 事業所(専業 127、商社 37)
賛助会員	61 事業所

2. 役 員 等(2022 年 3 月 31 日現在)

会 長	1 名
副 会 長	4 名
専務理事	1 名
理 事	4 名(会長、副会長、専務理事を除く)
監 事	2 名
顧 問	3 名
支 部 長	7 名

委員長	9名
運営委員	20名(含む委員長、以下同様)
財務委員	7名
商社流通委員	12名
業務対策委員	15名
環境委員	11名
国際ネットワーク委員	9名
広報委員	12名
自動車リサイクル法委員	9名
港湾委員	9名

3. 会 議

(1)第 32 回全国大会(九州支部主管)【開催中止】

2021 年 6 月 11 日(木)～12 日(金)に予定されていた熊本市(ホテル日航熊本)での全国大会については、新型コロナウイルスの感染拡大の収束が見通せない状況に鑑み、開催を取止めた。なお、九州支部主管の全国大会については 2022 年の東北支部主管による青森での大会の後、2023 年に開催されることとなった。

(2)2022 年新年賀詞交歓会【開催中止】

2022 年 1 月 7 日(金)に予定した新年賀詞交歓会については、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて開催を取りやめた。

なお、全ての支部においても新型コロナウイルスの状況を踏まえ、新年賀詞交歓会の開催は中止された。

(3)鉄リサイクル業高齢者雇用推進委員会

<委員会活動・事業>

[事業の目的]

(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構より 2021 年度～22 年度までの 2 年間の受託事業として実施、鉄リサイクル業界の「経営者・従業員の双方が、高齢者雇用によるメリットを感じることができるよう雇用管理面での仕組みづくり」や「高齢者を企業経営上の戦力として活用できるよう、高齢者本人の就業インセンティブを引き出す環境づくり」を目的として実施。

[事業内容]

- ・2021 年度は高齢者を有効活用する上での課題等を抽出し、2022 年度のガイドライン作成のための論点や方向性を検討。
- ・2022 年度は 21 年度に明らかになった論点や方向性をもとに高齢者雇用を推進するためのガイドラインを作成。

<委員会開催> (4回)

◆2021年度第1回委員会(2021年6月18日)【Web開催】

- (1) 産業別高齢者雇用推進事業の概要
- (2) 高齢者雇用推進事業実施計画(案)について
- (3) アンケート調査の実施概要(案)と調査票(案)について
- (4) ヒアリング調査の実施概要(案)について

◆2021年度第2回委員会(2021年7月21日)【Web開催】

- (1) アンケート調査の実施概要と調査票について
- (2) ヒアリング調査の実施概要について

◆2021年度第3回委員会(2021年12月21日)【Web開催】

- (1) アンケート調査の結果について
- (2) ヒアリング調査の結果について
- (3) ガイドライン作成に掲載するテーマ(案)と留意点

◆2021年度第4回委員会(2022年2月16日)【Web開催】

- (1) 鉄リサイクル業高齢者雇用推進事業報告書(案)について

4. 関係機関への委員派遣

(1) 一般社団法人日本鉄源協会

- ① 副会長、理事、監事、需給流通委員会・運営委員会等委員派遣 (会長他)

(2) 経済産業省、環境省関係

- ① 経済産業省「産業構造審議会産業技術環境分科会廃棄物・リサイクル小委員会自動車リサイクルWG」委員 (常務参与)

- ② 環境省「中央環境審議会循環型社会部会自動車リサイクル専門委員会」委員 (常務参与)

(3) 「リサイクルポート推進協議会」運営委員 (常務参与)

(4) リサイクルポート推進協議会「国際資源循環部会」部会長 (常務参与)

(5) 公益財団法人自動車リサイクル促進センター 評議員、総務委員 (専務理事他)

(6) 公益財団法人古紙再生促進センター 理事 (専務理事)

(7) 一般社団法人日本自動車会議所、経済・産業委員会 委員 (専務理事)

(8) 鉄リサイクル企業年金基金 理事 (常務参与)

5. 講演会、研修会

- (1) 業務対策委員会の下、従来より労働安全衛生講習会を各支部の協力により開催してきたが、2020年度以降、新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、対面形式による講習会の開催を取止め、ホームページ(会員ページ)上での動画配信にて情報提供

- (2)令和 3 年度環境委員会主催「定例講演会」(ウェビナー)を開催、会員等約 200 名が参加。(開催日:2022 年 3 月 3 日)

6. 関連団体の活動

(1)一般社団法人日本鉄源協会

鉄スクラップ関連情報として、年 1 回「鉄源年報」、3 ヶ月に 1 回「クォーターリーてつげん」、月 1 回「てつげん短信」をそれぞれ発行。

(2)リサイクルポート推進協議会、国際資源循環部会(国交省主管)

活動を通じて静脈物流における港湾(リサイクルポート)の果たすべき機能、特に大型船による鉄スクラップ輸出に向けた港湾インフラ整備に関し調査・検討・提言等を実施(港湾委員会)。その結果、2021 年 3 月には国交省より石狩湾新港・整備事業(総事業費 92 億円)の新規採択を受ける。

(3)鉄リサイクル企業年金基金

2022 年 3 月 31 日現在で実施事業所数 202 社、加入者数 6,881 名、受給者数 3,575 名、運用資産(時価)約 91 億円となっており、関連諸事業を推進。

7. 事務局

鉄スクラップ業の業況等関連情報の収集・提供、会議の企画、各種資料の作成・報告等を行うとともに、関係省庁からの情報の周知、要請への対応・意見具申並びに関係業界との連携等を推進。また、理事会、運営委員会の決議に基づき、当工業会の運用基盤の整備に係る業務等を遂行。

- (1)2050 年カーボンニュートラル実現に向け、鉄リサイクル業として鉄鋼業界の取り組みに貢献できるよう経済産業省等、関係省庁ならびに普通鋼電炉工業会等の関係業界団体と意見交換を実施、今後の対応等につき適宜意見交換を行った。

- (2)関係省庁からの発表、要請事項等の会員への周知、案内。

- ①新型コロナウイルス感染症の大規模感染防止に向けた職場における対応
- ②新型コロナウイルス感染緊急事態宣言を受けた在宅勤務等の推進について
- ③金属業界における産業事故、地震・台風等の自然災害による被害、防災関連法令違反発生時における対応について
- ④重量違反(過積載)防止について
- ⑤リチウムイオン電池等に起因した火災事故防止策について
- ⑥冬季における節電の協力要請及び省エネルギー対策について

- (3)工業会会計の合理化、効率化を図る。会計の透明化、適正化を図るため公認会計士による外部監査の実施を目指している。

- (4)内外マスコミ及び関係諸機関からの取材、問合せへの対応。

- (5)毎月FAX通信を作成・配信(本部事務局の活動状況及び業況概要)。

8. 2021 年度新入会員

● 専業会員

< 北海道支部 >

有限会社 小川商店	代表取締役	小川雅裕
-----------	-------	------

< 関東支部 >

株式会社 NEWSCON	代表取締役社長	妙見英樹
--------------	---------	------

株式会社 坂本商会	代表取締役	坂本 泰
-----------	-------	------

有限会社 スギヤマ	代表取締役	杉山 寛
-----------	-------	------

IT金属株式会社	代表取締役	伊藤喜則
----------	-------	------

< 関西支部 >

巖本金属株式会社	代表取締役社長	巖本 博
----------	---------	------

株式会社 浜一	代表取締役	小濱正枝
---------	-------	------